



南十字星



2023年度 第6号

令和5年11月10日

クイーンズランド補習授業校

ゴールドコースト校

校長 直塚 裕典

E-mail: jschoolgc@jsgc.org.au

子ども達は日々、成長しています！寒い補習校祭り!!



先週の補習校祭りには、在ブリスベン総領事館総領事胡摩窪様、そして、たくさんの保護者の皆様に来ていただき、ありがとうございました。午前の部は学習発表会を行いました。どの学年も子どもの発達段階に依りて工夫した日本語での発表だったと思います。午後の部は、保護者役員や運営委員、日本人会の皆様のご協力のもと、模擬店・ゲームコーナーが大盛況で、子ども達はとても喜んで楽しく過ごしていました。小学5・6年生、中学生も大活躍でした。タレントショーでは、日頃の現地校や習い事などで頑張っている成果、楽器の演奏、ダンスなどを披露し合い、これまで知らなかった友達の良さをみんなで認め合うことができたと思います。子ども達が学校行事を通して、大きく成長していると感じた一日でもありました。

今年の補習校祭りは、時間がない中に先生方と子ども達が一つになって学習の成果をつくり上げようと努力した結果、クラスの一体感が生まれたのだと強く感じました。また、ご家庭での練習の後押しなどの協力のおかげだと感謝申し上げます。子ども達が過ごした楽しいひと時も、補習校の一年を通してとても大切な時間ではないかと考えています。

最後に、子ども達のために準備をしていただいた保護者役員や運営委員の皆様、そして保護者の皆様、本当にありがとうございました。それでは、補習校祭りの一日を写真で振り返ってみることにしましょう。

【午前のステージ発表】

学年にふさわしい素晴らしい発表でした。学年の特色（幼稚部から中学3年まで）があり、様々な工夫が見られ、4月から大きく成長した姿を見ることが出来ました。幼稚部・小学部の発表を見ていて、日頃の先生方のきめ細やかな授業の延長線上にこの学習発表会があることを改めて認識できました。中学部は、中学生らしく落ち着いた堂々とした発表でした。中学3年生は最後の補習校祭りでしたが、しっかりとまとめて、最後を飾ってくれました。最後に、校歌の作曲をしていただいた高橋浩美先生に動画メッセージをいただき、校歌「輝く未来へ」を全員で合唱しました。

【開会の言葉・ご来賓挨拶・始めの言葉】

【小学3年 「ことわざかるた」】



【小学2年 「ふきのとう」の音読劇】

【小学5年 「クラッピングファンタジー〜銀河をこえて〜」】



【小学1年 「かがやけ！1年生」】



【小学4年 「世界に一つだけの花」】



【小学6年 「6年生のクイズ大会」】



【幼稚部 「スーパーマリオ ようちぶ！」】



【中学1年 補習校祭りを守れ！犯人はだれだ！？】



【中学2年 「未成年の主張」】



【中3 「笑点」】



【先生たち 「詩の朗読と手話」】



【全校合唱 校歌「輝く未来へ」】



【終わりの言葉・講評】



「がんばり」をほめてください！



【午後のタレントショー・模擬店・ゲーム】

「タレントショー」には、子ども達がたくさん出演してくれました。楽器演奏やダンスなど、どれも見ごたえがあり、子ども達の特技の披露に感心させられました。GC校にはタレントを持った児童生徒がたくさんいます。日頃の国語・算数の授業だけではわからない友達のよさや頑張りを知ってもらうことができたのではないのでしょうか。

「模擬店やゲームコーナー」には、保護者の皆様の「子ども達が喜んでくそうなお店やアイデアあふれるお店」が並び、子ども達も時間を忘れて楽しんでいました。出店してくださった保護者の皆様や関係者の方々に感謝申し上げます。小学5・6年生や中学生が出したお店も大盛況で、長蛇の列でした。小さい子どもにお兄さんお姉さんとして、とても優しく説明していました。中学生はとても成長しました。保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

【模擬店・タレントショーなどの様子 ～一部掲載～】



大盛況！

～保護者の皆様も大活躍～



【学校長より】

補習校祭りのステージ発表やタレントショー、小学5・6年生や中学生の模擬店やゲームコーナーなどを見ながら、子ども達一人一人の成長を感じた一日でした。これもひとえに、労を惜みず頑張ってください保護者の皆様や運営委員会・ゴールドコースト日本人会の皆様のバックアップがあるからだと感じました。子ども達が日々成長していく姿を見ることは、教員として大変喜ばしいことです。子ども達の笑顔は宝物ですね。

今後とも、保護者の皆様と協力して子ども達の成長を先生方と共に見守っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<文集『あおぞら』に向けて>

文集の季節がやってきました。子ども達の発達段階に応じて、書く内容やテーマが違います。日本語の文章を書くのが不得意な子どももいますが、自分に今できるものを仕上げしてほしいと考えています。子ども達の成長を文集でも見ることができ、とても楽しみにしています。

文集の表紙絵も募集しています。文集原稿提出の締切日は、11月25日です。

全校朝会のスピーチ 「9月16日発表」

中学部3年 乙津 廉くん

皆さんおはようございます。

皆さんは、数週間前に行われたバスケのワールドカップを見ましたか？今回の日本は、全5試合中3勝によって、アジア一位を獲得した上に、48年ぶりのオリンピック出場決定となりました。世界ランキング11位のドイツと3位のオーストラリアには負けましたが、フィンランド、ベネズエラ、カーボベルデには勝利しました。フィンランド戦とベネズエラ戦の前半戦ではかなりの点差を広げられ、日本は苦しい状況でしたが「諦めない」という心を持ち、逆転勝利しました。最後のカーボベルデ戦では、先ほどの試合とは逆で、前半では日本がリードしていましたが、後半からあまり点が入らず、相手チームの点が上がってきて日本が負けそうな状況でした。ですが、トム・ホーバスという監督が「まだ試合は終わっていない！」と喝を入れ、点が入るようになり、最終的に日本が勝利しました。僕は今回の試合で、日本チームの団結力と「諦めない」という気持ちにとっても感動しました。来年のパリオリンピックでの日本の活躍を期待しています。皆さんもバスケだけではなく、他のスポーツ含めて日本を応援しましょう。ありがとうございました。

全校朝会のスピーチ 「10月7日発表」

中学部3年 バウア ポピーさん

今日は、私が冬休みに行ったスリランカ旅行で感じたことを話したいと思います。私はスリランカに行って、日本やオーストラリアに住んでいる私たちはとても恵まれていると感じました。どうしてだと思いますか？スリランカは発展途上国なので、医療、教育、技術などのアクセスがあまりないです。スリランカの人はほとんどパソコンを持っていませんでした。お給料も低いです。私が会った人たちは、一日働いて5ドルとか7ドルをもらうそうです。オーストラリアでは、1時間25ドルくらいです。

その代わりに、スリランカの人たちは私たちにないものを持っています。道には犬、猫、牛、サル、象などの動物が歩いています。野生動物がすぐ近くにいて、すごいと思いました。スリランカ人はとてもフレンドリーで、人を信頼する力が強いと感じました。すぐ友達になれたり、ほとんどのお店で支払いはあとでいいと言ってくれたり、外国の人にスリランカを楽しんでほしいと言う優しい気持ちも伝わってきました。

スリランカは、一見、恵まれていないように見えますが、実は素晴らしい環境に囲まれています。皆さんも、もし自分が恵まれていないと感じたときは、もう一度考え直してみませんか？

3・4学期の主な予定

- 1.1月18日 入学説明会、理科学習日、文集原稿締切日
- 1.2月 2日 第3学期終業式、幼稚部・小1入試面接、～夏休み～
- 1.1月20日 第4学期始業式
- 1.1月27日 幼稚部・小1入試面接（予備日）
- 2.2月 3日 社会科学習日
- 2.2月10日 かるた・百人一首大会（幼稚部：豆まぎ）、保護者参観
- 3.3月 9日 卒業式、修了式、成績通知表配付

